

日本一高い介護保険料 本気で引き下げべき

大阪市議会
民生保健委

山中智子議員が質問



質問する山中氏＝18日、大阪市議会民生保健委員会

当初は96万円で、150万円になったのは2012年度からです。

山中氏は、「(収入基準が)14年間変わらないのはひどい。異常な物価高が続く中、この基準も見直されるべきではないか」と質問。福祉局の担当者は「国の基準を参考にして設定しており、政令市の中では最も高い」と答えました。

「そんなことだけ自慢しても駄目だ。(大阪市の)介護保険料は日本一高いのだから」と山中氏。基準を見直して軽減制度を拡充するとともに、日本一高い介護保険料そのものを本気で引き下げるよう求めました。

日本共産党の山中智子
大阪市議が、18日の市議会民生保健委員会(18日)で、全国一高い介護保険料の引き下げや物価高対策、高齢者の居場所づくりなどを求める陳情の採択を求めて質問しました。

山中氏は、介護保険制度を巡って「保険あって介護なし」という事態が深刻になり、「公費負担50%・保険料50%」で利用が増えれば保険料が上

がるという仕組みも限界にきていると強調。制度をつくり、改悪を重ねてきた国の責任は大きく、公費負担をせめて60%に引き上げることが求めたいと述べました。

市は、世帯全員が市町村民税非課税で生活に困窮している市民に、介護保険料の軽減措置を実施しています。1人世帯の場合は年収が150万円以下であることなどが要件。介護保険制度の導入